

# 国際交流基金助成事業報告書

薬学部 2年次生 城 葉月

## 1. はじめに

私は2018年3月1日から3月24日まで韓国の延世大学に語学留学したので、ここに報告します。同じ語学堂に通う友達と寮で生活し、言語だけでなくそれぞれの文化や考え方を学ぶことで、自分自身の視野を広げることを目標としていました。



写真1. 語学堂

## 2. 語学堂について

私が通っていた語学堂はソウル市内にあります。延世大学は、韓国で最も古い伝統を誇る大学で、語学堂も韓国内最大規模の教育機関です。語学堂によって、会話に重点を置いていたり読み書きに重点を置いていたりするようですが、延世大学の語学堂は偏ることなく満遍なく勉強することができると思います。韓国語を勉強し始めてまだ間もない私にとってはそれが良いと考え、延世大学に留学することを決めました。

平日の午前中に語学の授業を受け、午後は文化体験授業を受けました。授業では1.2限は読み書き3.4限は聞き取りと会話が中心となっていました。はじめは先生の韓国語に圧倒され、授業についていくのが精一杯でしたが、だんだんと耳が慣れ言いたいことも自分の言葉で伝えられるようになり嬉しかったのを覚えています。

文化体験授業では、韓国料理やダンスなどの授業がありました。残念ながら同じクラスには日本人の女の子がいなかったのですが、文化体験授業はクラス関係なく行われ

るので、他クラスの外国人と話す良い機会となりました。

### 3. 言語交換制度

延世大学の語学堂には、大学で日本語を勉強している生徒と韓国語を勉強している語学堂の生徒がペアとなり互いの言語を教えあう、言語交換制度というものがあります。私が留学中多くの時間を過ごしたのは、この制度を通して知り合った学生で、授業では学べないような言い回しや韓国についての事など多くを学びました。現地の学生と知り合う機会があるのはとても良い点だと思います。



写真 2 . 漢江公園



写真 3 . 韓国料理プデチゲ

#### 4. 観光

景福宮や仁寺洞、南大門 ロッテワールドなどたくさん観光しましたが、一番心に残っているのは、平昌です。ちょうど平昌でパラリンピックが行われていたので訪れたのですが、そこでは思ったより自分の伝えたいことが伝わらず、もどかしく思いました。当たり前ではありますが、言語というものはコミュニケーションを取る上でとても大事であると再認識し、もっと言語を勉強したいと思いました。



写真4. 最寄り江陵駅



写真5. 景福宮

#### 5. 最後に

私は今まで何度も留学のチャンスを逃していましたが、今回勇気を出し挑戦して、本当に良かったと思います。この一ヶ月、日本では経験できない時間を過ごし、多くを学びました。またそれと同時に、日本の素晴らしい文化にも気づくことができました。国際交流基金の助成のおかげでこのような機会を得ることができ、とても感謝しています。





写真 6. 修了式